

中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

団体名	(特非)北播磨市民活動支援センター	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 柳田 吉亮
事業名	市民活動団体・NPOに携わる地域づくり人材育成事業			

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R6 実績	61回/25件	23件	42人/2回	24件	0
R7 計画	70回	24件	40人/4回	9団体	0
R7 実績	49回/20件	21件	21人/3回	10団体	0

< 効果と成果 >

中間支援組織として、NPO法人や市民活動団体の相談支援を中心に、情報提供、交流機会の創出、事務力向上のためのセミナー等を実施した。相談件数は例年と比べやや減少したものの、継続的に相談を受ける団体が多く、団体の状況に寄り添った伴走的な支援につながった。また、相談事業では相談対応に従事するスタッフの育成にも取り組み、相談時には陪席するなど実践を通じた人材育成を行い、支援体制の強化を図った。メーリングリストによる定期的な情報発信は、情報提供の手段としてだけでなく、団体との接点を継続的に持つためのツールとしても活用することができた。

世代交代やボランティアをテーマとした交流座談会では、少人数で実施したことで参加者同士が率直に意見交換できる環境をつくることができ、団体リーダーが具体的な事例や課題、本音を共有する機会となった。これにより顔の見える関係づくりが進み、孤立しがちなリーダーが他団体とつながる機会の創出にもつながった。さらに、事務力パワーアップセミナーでは、団体運営を支える事務担当者の課題解決やスキル向上に寄与した。これらの取組により、相談支援、情報提供、交流機会の創出、学びの場の提供を組み合わせた多面的な支援を行うことができた。また、団体にとって必要な知識や運営力を高める学びの機会と、団体同士のネットワーク構築の両面に取り組むことができた。さらに、相談事業を通じて把握した団体の課題をセミナーや座談会のテーマに反映することで、地域のNPOの実情に即した事業展開につながった。

< 今後の展望 >

相談事業を通じて、団体運営に関する課題や人材不足、世代交代などの共通課題が見えてきていることから、引き続き相談機能を軸とした伴走型支援の充実を図るとともに、相談対応に従事するスタッフの育成を進め、支援体制の強化を図っていく。

また、これまで拠点を中心に実施してきた支援に加え、地域の活動現場や団体のもとへ出向く機会を増やし、新たな団体や個人とのつながりを意識した支援を展開していく。

さらに、相談事業を通じて把握した現場の課題を、セミナーや交流事業などの学びの機会やネットワークづくりに反映させることで、団体の運営力向上と団体間の連携促進の両面から地域のNPO活動の基盤強化につなげていく。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金等	8,405
合 計	508,405

(支出)

区分	項目	金額(円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費(相談)	140,669	140,669
	人件費(勉強会)	89,752	89,752
	講師謝金	90,000	90,000
	その他(印刷製本費等)	51,788	47,394
	小計	372,209	367,815
間接経費(一般管理費)		136,196	132,185
合計		508,405	500,000